

TeamViewer ジャパン、セキュリティ・ソリューションベンダーのラックと販売業務契約 エンタープライズ向けサービス強化へ

リモート接続ソリューション世界最大手の TeamViewer ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、カントリー
マネージャー:藤本善樹、以下、チームビューワー)は、エンタープライズ市場の拡大を狙い、サイバーセキュリ
ティ分野のリーディングカンパニーである株式会社ラック(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:西本逸郎、
以下、ラック)と業務契約を締結し、ラックを通じてチームビューワーのリモート接続ソリューションの販売を開始
したことをお知らせいたします。

昨今の労働力不足やIoT市場の拡大を背景にリモート接続の活用が広がる中、安全性に加え、マルチデバイス
対応、実効性、コストパフォーマンスなど多様な対応が求められるようになっていきます。チームビューワーとラック
は今回の販売業務契約を通じて、『TeamViewer』のエンタープライズライセンスを含むパッケージ製品の拡販に
加え、『TeamViewer IoT』を活用したソリューションを含むプランニングから導入、導入後の利用トレーニングなど
包括的なサービスを提供します。

【ラックが提供するサービス】

- 『TeamViewer』のライセンス販売
リモートアクセス製品として、一般消費者から企業の情報管理者まで広く支持を受けている
『TeamViewer』を、企業に向けて販売します。
- 『TeamViewer』を活用した業務変革、働き方改革の支援(AR技術の活用を含む)
『TeamViewer』をリモートワークやヘルプデスク業務、業務のリモートサポート業務などの利用シーンに
合わせ、業務と働き方の変革に向けて活用いただけるよう提案します。
- 『TeamViewer』を活用する企業へのセキュリティコンサルティングおよびユーザー教育
リモートアクセス製品である『TeamViewer』を、企業で利用するためのセキュリティコンサルティング
及び、利用者への教育を提供します。

チームビューワーの藤本善樹は「セキュリティ分野をリードし、システムインテグレーションを積極的に手掛ける
ラックと協業することで、『TeamViewer』のソリューションがより多くの日本の企業に活用されると考えています。
今後も、拡張可能で安全性の高いリモート接続ソリューションを提供することで、企業が抱える様々な課題の
解決を支援していきたく考えています。」とコメントしています。

チームビューワーは、2018年に国内法人を設立、エンタープライズ市場におけるユーザー拡大のための販売
体制を強化しています。

TeamViewer(チームビューワー)について

2005年にドイツで創業以来、リモート接続ソリューションの世界最大手として事業展開しており、現在は、全世界
で常時4,000万の接続を支え、欧州、アフリカ、中東ではトップシェアを占めています。2018年に日本法人
「TeamViewer ジャパン株式会社」を設立し、日本国内におけるリモート接続ソリューションの普及を目指して
います。詳しい情報はホームページをご覧ください。[\(https://www.teamviewer.com/ja/\)](https://www.teamviewer.com/ja/)



ラックについて

1986年にシステム開発事業で創業、多くの実績を誇る「金融系の基盤システム開発」をはじめ、社会の基盤システムの開発を行っています。1995年にはいち早く情報セキュリティ事業を開始し、現在ではサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーとして、官公庁・企業・団体等のお客様に業界屈指のセキュリティ技術を駆使した、先端のITトータルソリューションサービスを提供しています。[\(https://www.lac.co.jp/\)](https://www.lac.co.jp/)